



平成 29 年 1 月 11 日

各位

会社名 株式会社ポプラ  
 代表者名 代表取締役社長 目黒 真司  
 (コード番号 7601 東証第1部)  
 問い合わせ先 取締役副社長 中間 昭登  
 (TEL 082-837-3510)

## 平成 29 年 2 月期通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年10月7日に公表しました業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

## 記

## 1. 平成 29 年 2 月期通期連結業績予想の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

	営業総収入	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	33,438	▲382	▲335	73	7.41
今回修正予想 (B)	33,206	▲474	▲472	358	36.22
増減額 (B-A)	▲232	▲92	▲137	285	
増減率 (%)	▲0.6%	—	—	390.4%	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期)	38,777	82	129	60	6.08

## 2. 平成 29 年 2 月期通期個別業績予想の修正 (平成 28 年 3 月 1 日～平成 29 年 2 月 28 日)

	営業総収入	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	32,244	▲377	32	3.31
今回修正予想 (B)	32,013	▲499	▲487	▲49.20
増減額 (B-A)	▲231	▲122	▲519	
増減率 (%)	▲0.7%	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 2 月期)	37,761	121	57	5.78

## 5. 業績予想修正の理由

2016年9月6日付の「株式会社ローソンとの山陰地区事業における共同運営会社の設立のための会社分割契約の承認のお知らせ」で開示しましたように、山陰エリアでローソン社との共同出資で株式会社ローソン山陰を設立し、山陰エリアの店舗の共同運営を開始しました。

株式会社ローソン山陰を設立するにあたり、当社は山陰地区で展開する店舗 51 店舗の分割譲渡に加え現金出資を実施 (ローソン社からは 235 店舗の会社分割を実施) することで、当社が株式の約 30%を保有する持分適用会社となりました。

株式会社ローソン山陰が当社の持分適用会社となったことによる事業価値を当社の会計監査人である優成監査法人と慎重に精査、協議した結果、当社がローソン山陰に投資したローソン店舗譲渡の総資産額の 70%に対する持分変動益 8.4 億円を連結損益に計上し、また株式取得に関わる法人税 2.4 億円を単体計上することとなりました。

た。その結果、親会社株主に帰属する当期純利益を 73 百万円から 358 百万円に上方修正いたします。

なお、ポプラ単体損益については、上記の山陰エリアでの事業継承に関わり、一時的に発生する在庫商品の処分や従業員の有休補償等の費用が当初の想定以上に膨らんだ結果、通期見通しを下方修正しています。これらの一時的な要因を除き、本業のパフォーマンスは中食イノベーションの一環として取り組みがスタートした彩家シリーズ、デザート、弁当、サンドの展開強化により、中食カテゴリで既存店前年比 100%を超えるなどと好調に推移し目標利益を達成しております。

※上記の業績予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報より作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって異なる場合があります。

以上